

数値目標

基本施策	数値目標	策定時	目標値
I	成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合	38.9% (R4年度)	55.0% (R9年度)
	1週間の総運動時間数60分未満の児童生徒数の割合(※1)	小5男子 9.5% 小5女子 15.5% 中2男子 7.6% 中2女子 17.9% (R4年度)	小5男子 4.3% 小5女子 7.4% 中2男子 3.7% 中2女子 8.9% (R9年度)
	運動やスポーツをすることが好きな児童生徒数の割合(※1)	小5男子 69.2% 小5女子 53.1% 中2男子 64.1% 中2女子 47.8% (R4年度)	小5男子 75.0% 小5女子 60.0% 中2男子 65.0% 中2女子 50.0% (R9年度)
	新体力テストにおける総合評価C以上の児童生徒数の割合(※1)	小5男子 64.3% 小5女子 69.9% 中2男子 67.6% 中2女子 81.7% (R4年度)	小5男子 80%以上 小5女子 80%以上 中2男子 85%以上 中2女子 85%以上 (R9年度)
	障害者スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数	年間26回 (R3年度)	年間50回以上 (R7年度) <small>※目標値は第4期岡山県障害者計画で設定</small>
II	国民体育大会における天皇杯順位(※2)	16位 (R4年)	10位台 (R9年)
	世界大会の出場者数	13人 (H30年～R3年(R2年を除く)の平均)	15人 (R7年～R9年の平均)
	「岡山県アスリート就職支援事業」による県内就職内定者	4人 (R3年度)	5人 (R9年度)
	日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録者数	3,206人 (R4年度)	3,500人 (R9年度)
III	地域課題に応える取組の推進として学校との連携を行っている総合型地域スポーツクラブの割合	34.3% (R3年度)	50.0% (R9年度)
	「普段の生活の中で芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合	28.2% (R4年度)	38.0% (R9年度)
	国際スポーツイベント等誘致件数	2件 (R4年度見込)	2件以上 (R9年度)
	トップクラブチームのホームゲームにおける観客動員数	111千人 (R3年度)	267千人 (R9年度)
IV	県営スポーツ施設利用者数	492千人 (R3年度)	1,847千人 (R9年度)
	スポーツ情報ウェブサイト「おかやまスポーツナビ」のアクセス数	28,103件 (H30年度～R3年度の平均)	42,000件 (R9年度)

(※1) 政令指定都市である岡山市は、義務教育の実施に様々な権限を有し、それに基づいて岡山市の実態を踏まえた独自の教育施策を推進していますが、県スポーツ推進計画は、岡山県の全世代の県民を対象にしていることから、ここでは、岡山市も含んだ数値を目標としています。

(※2) 「国民体育大会」は、令和6年第78回大会から「国民スポーツ大会」に名称変更します。

第2次岡山県スポーツ推進計画

概要版

スポーツ立県おかやまの発展

～誰もがともに「する」「みる」「ささえる」
スポーツで明るい笑顔の生き生き岡山～



岡山県マスコット
「ももち」「うらっち」

計画の期間

令和5(2023)年度から令和9(2027)年度までの5年間

「第2次岡山県スポーツ推進計画」は、スポーツ振興課のホームページでご覧になれます。
<https://www.pref.okayama.jp/> 岡山県トップページ>組織でさがす>環境文化部>スポーツ振興課

岡山県 環境文化部 スポーツ振興課

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 TEL.086-226-7440 FAX.086-225-0260

令和5(2023)年3月
岡山県

施策体系

基本施策

I

多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出

～多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出～

具体的施策の方向性

- 1 子ども・若者の運動・スポーツ活動の推進
- 2 働く世代・子育て世代、高齢者の運動・スポーツ活動の推進
- 3 学校における体育・スポーツ活動の充実
- 4 障害のある人の運動・スポーツ活動の推進

すべての県民が、性別や年齢、障害の有無等にかかわらず、それぞれの体力や技術、興味、目的に応じて、運動・スポーツ活動に親しみ、楽しむことができる機会の創出に取り組みます。

基本施策

II

アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築

～競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上～

具体的施策の方向性

- 1 アスリートの育成・強化
- 2 アスリート育成パスウェイの構築
- 3 指導者の育成・資質向上
- 4 障害者アスリートの育成と支援体制の構築
- 5 アスリートの安全・安心の確保

本県ゆかりのアスリートが世界や全国の舞台で活躍することは、競技スポーツに対する関心と応援機運を高め、社会全体の活力を生み出すことにつながります。今まで培ってきた競技力向上のための資源を次世代に継承するため、アスリート育成パスウェイの構築と指導者の育成・資質向上等に取り組みます。

基本施策

III

スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造

～東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」の継承及び共生社会の実現と地域の活性化～

具体的施策の方向性

- 1 地域と連携した運動・スポーツ活動の推進による共生社会の実現
- 2 大規模スポーツイベント、合宿等を通じた地域活性化
- 3 トップクラブチームを核とした地域活性化
- 4 第79回国民スポーツ大会冬季大会の開催

地域と連携した運動・スポーツ活動の推進により共生社会の実現を目指すとともに、おかやまマラソンやトップクラブチームの活躍、第79回国民スポーツ大会冬季大会等の開催を通じて地域の活性化に取り組み、東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」を継承します。

基本施策

IV

スポーツ環境の整備

～「ハード」「ソフト」「人材」の充実～

具体的施策の方向性

- 1 指導者・ボランティアなど多様な人材の育成、活躍の場の創出
- 2 スポーツ施設の機能の充実と活用の促進
- 3 スポーツ界におけるDXの推進
- 4 誰もがスポーツに気軽に親しめる情報発信

指導者、ボランティアなど多様な人材の育成、スポーツ施設の機能の充実、DXの推進、情報発信等を通じて、スポーツ環境の整備に取り組みます。